



ロータリーは機会の扉を開く

脇町ロータリークラブ

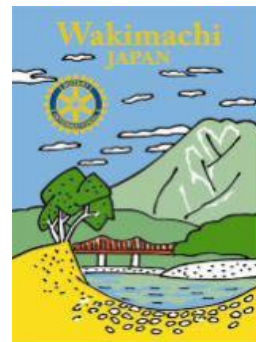
第2670地区

徳島第2分区 脇町ロータリークラブ

2020年10月 8日 木曜日

第13回例会 No.2727

会員総数: 40名 修正出席率: 100%



◎会長挨拶

白川会長 皆さまこんにちは。今から11年前、私がロータリークラブに入会して間もない頃、当時の職業奉仕委員長の佐藤順二さんが「多門寺で職場例会をして、皆に顔と寺を売り込みませんか」と提案され、まんまと戦略に乗りまして当寺で職場例会を開催しました。そのお陰で現在会長をさせていただいているのかも知れませんね。その時、来て頂いた方もいらっしゃると思いますし、初めて来られた方もいらっしゃると思いますが、ようこそお越し下さいました。前回はお抹茶を点てて本堂で護摩祈祷をしたと思います。今回はコロナ禍の影響で食事会、飲み会などが出来ない状況下で、会長として皆様と友情を深められる一助になればと、寺に古くから伝わります半田漆器を使って、私の妻が精進料理でもてなしてくれました。本当に有難く、心から感謝したいと思います。

さて、横に見えます庭園は今から650年ほど前、南北朝時代に作庭されたといわれております。現在、県の重要文化財に指定されています。池泉園遊式の庭で、大きな特徴としては龍門瀑を取り入れているところです。古代中国の故事で鯉が滝を三つ登れば龍になるとのことで、日本では5月の節句に建てる鯉のぼりの原型となっています。立身出世の縁起のよい庭といわれています。この手法を取り入れている庭は日本に5か所しかなく、有名な所では京都天龍寺や金閣寺がそうです。こんな山奥の寺にあるのが非常にミステリアスです。今日は庭園を眺めながら精進料理を召し上がっていただき、ごゆっくりとお過ごしください。

◎幹事報告

古田幹事 次週報告

六車職業奉仕委員長 本日は雨で足元の悪い中、多くの方に移動例会に出席いただきましてありがとうございます。白川会長のご厚意によりまして、多聞寺にて奥様が作っていただいた精進料理をふるまうということ、提案いただき今日のはこびとなりました。この後、本堂にて白川住職による有難いお勤めもしていただけたということでどうか皆さんお時間の許すかぎり、ゆっくりとしていただけたらと思います。今日一日よろしくお願い致します。

◎卓話

白川会長 皆さまこんにちは。只今は多門寺本堂 毘沙門天様の御宝前におきまして、脇町ロータリークラブの益々の発展と繁栄、そして皆様方の身体健康・家内安全・社運隆昌・商売繁盛を祈願させていただきました。本尊毘沙門天のご利益たるや七福神随一といわれ、戦国時代には戦勝の神として名だたる武将らに信仰されていました。有名なのが越後の虎こと上杉謙信は、自らを毘沙門天の化身といい全戦全勝だったといわれます。また古代インドの神話に、吉祥天のことを絶世の美女で帝釈天、梵天など多くの天部の神々に求婚されるも、すべて袖にして毘沙門天の求婚に唯一応じたといわれ、毘沙門天の妃とも妹ともされています。当山では毘沙門天様の厨子の御前立ちが吉祥天女様です。

現在毘沙門天様の吉祥天女様は運気の向上、商売繁盛等の御利益がありますが、毘沙門天様を現代に例えたら、世界一の力持ちで、世界一の男前で、世界一の大金持ちというところでしょうか？言うなれば、横綱白鵬のように強くて、福山雅治のように男前で、ビルゲイツのように大金持ちみたいな感じでしょうか？とにかく、他の仏様が見放したどんな願いでも叶えて下さると、多くの方に信仰されています。皆様も騙されたつもりで是非拜んでいただければよろしいかと思います。

さて、ここで少々自分の事を申し上げますと、私は3歳の時にこの寺に貰われてきたそうです。と申しますのも、先代住職は祖父にあたりまして、自分の子供、私にとりましたら叔父たちが他に養子に行ったり、早死にしたりで跡取りがいなくなり、娘の次男、つまり私を跡取りにということで、嫌がる母親から無理矢理奪い取ったそうです。私が孫の中で一番小さく、物心がついてなかったのが良かったのでしょうか。当然母親は悩み、小さな子供を自分の父の元といえども渡したとこに罪の意識で苦しんだようです。先代は明治生まれの現代では想像できない程の絶対的な関白で、自他ともに厳しく言い訳などは通用しませんでした。母親が寺に来るのを孫のために良くないと近づけませんでした。そのために母親は神戸から当時の交通事情では丸一日かけて寺まで来て、こっそり私を見て涙して帰って行ったそうです。まるで一休さんみたいですね。

そんな鬼みみたいな先代住職でして、私も若い頃は厳しくされたこともあり、嫌で仕方なかったです。しかし自分も修行をして、住職を継いでみると全てが尊敬に値し、比べてみると感心することばかりです。先代は地域密着型で壇信徒に対しても本音で語り合い、喧嘩になることもありましたが、最後は打ち解けて共に信頼を深めていたように思います。そんな歴史があります私と寺ですが、皆さま、県道から寺までの山道にゴミ一つ無かったと思います。それは寺にお参りに来る方が気持ちよく通れる様にと地域の方々が掃除をしてくれています。特に一人の女性に至りましては、若くして働き盛りの夫を事故で亡くし、娘二人を育てるのに早朝より夜遅くまで休みも無く仕事に出掛けていました。地域とお寺の為に何にもできなかったと退職されてから毎日掃除をしてくれています。一番驚いたのは7年前当地が大雪に見舞われて木が倒れ停電が続き、誰もがもうこれでこの地域も終わったなどと諦めていた時、82歳の彼女は一人ノコギリを持ち一生懸命に木を伐り、道を開いていました。その姿に感動し、皆を動かしました。私はこのような地域の方々や壇信徒が存在するこの寺で期待に少しでも応えられるように、修行に励み精進することが使命であり宿命と思い、微力ながら頑張っていく事がロータリークラブのいうところの奉仕の精神にも繋がると思います。本日は職業奉仕委員長六車さんお疲れ様でした。

(ひとりごと) あいにく雨にはなりましたが、山の澄み切った空気、美しく手入れされている庭園、本堂での住職による有難いお勤め、そして奥様の心のこもった精進料理とおもてなし、本当に記憶に残る素晴らしい移動例会になりました。白川会長そして奥様、本当にありがとうございました。

次回例会	2020年10月15日(木) 12:30より 四季料理 森友 WEB会議 併用開催
卓話	六車会員

☆次回例会の出欠を鉄野出席委員長まで連絡してください。